

サル力二合戦

初步教育を誤まるは
共産思想よりも恐し

つしあるが年々歳べ改正され
て行く教科書の内容は其の都度不平と誤謬を含せ社
會教育上の問題となるので
あるわけでも初等教育の教

科書に於ては年毎に話題に
上る様である

明九年度に於いても大改正は
さるべき教科書中尋一巻二
義であるならば時代の人間に記載されてゐるところの作
るに至つてはひい限り

猿蟹合戦の問題も昭和八年
九月十四日の東日紙に發表
されてゐる如き國民教育上うか
の由々しき問題として取扱
はれてゐる様である

總て各國に於いても童謡と
か童話昔話等は其の國切無
く、民性に依り古人に依つて作
られたるものであるが故に明
らかに家庭争議の根本義

新時代人を造る上からとは
いのである

復讐とか侮蔑的言辭とか種
々理由はあるが七八才の幼
年の如にして字句の消化力な
いものが猿蟹合戦の文章中よ
り創造し得る者はなく又小

学校國語讀本よりサルカニ
思想を注入する教員は萬な
いと思はれるのである(勞僕冠、事
大黨、日清戰爭等)

時代は進化してゆく
歲々其の教育法は改善され
つしあるが年々歳べ改正さ
れて行く教科書の内容は其の都度不平と誤謬を含せ社
會教育上の問題となるので
あるわけでも初等教育の教

科書に於ては年毎に話題に
上る様である

明九年度に於いても大改正は
さるべき教科書中尋一巻二
義であるならば時代の人間に記載されてゐるところの作
るに至つてはひい限り

猿蟹合戦の問題も昭和八年
九月十四日の東日紙に發表
されてゐる如き國民教育上うか
の由々しき問題として取扱
はれてゐる様である

總て各國に於いても童謡と
か童話昔話等は其の國切無
く、民性に依り古人に依つて作
られたるものであるが故に明
らかに家庭争議の根本義

新時代人を造る上からとは
いのである

復讐とか侮蔑的言辭とか種
々理由はあるが七八才の幼
年の如にして字句の消化力な
いものが猿蟹合戦の文章中よ
り創造し得る者はなく又小

学校國語讀本よりサルカニ
思想を注入する教員は萬な
いと思はれるのである(勞僕冠、事
大黨、日清戰爭等)

勝負はよく御存じの筈で

オミットトレで教育せねばな
らない事に前の朝鮮總督館

勤務懲役こそ我が日本の原文
アルカリ合戦等喜びで原文

のまゝ幼兒教材とせねばな
らないのである

國の國民精神であるならば
我が日本が平和主義を捨て

訓育學校の言の如く猿蟹合
戦を依つて盲人を侮辱した偏見

なる支那の抗日讀本や
ヤンキーの排日思想をまね

あらうか童謡童話神話昔

徳とする外國より見て誤
るはそれ共産赤化思想

より尙恐ろしき由々しき事
ではあるまいか

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント代理店

金物 箕屋商店

内科、外科

小兒科、花柳病科

| | | | | |
|--|---------------------|--------------------|--------------------------|--------------------|
| 資生堂藥鋪 | 久保田醫院 | 佐瀬醫院 | 平川醫院 | 宮津醫院 |
| 目品業營 洋衛生名療 酒生名療 鑑材貢藥品、工 業化染料、塗料 寫真機、材料 振替口座仙台五四 福島縣小名濱町 電話六六番百十 番 | 久保田 磐城水產工業 會社 | 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 平川 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 宮津 磐城水產工業 會社 |
| 資生堂藥鋪 | 久保田 磐城水產工業 會社 | 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 平川 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 宮津 磐城水產工業 會社 |
| 資生堂藥鋪 | 久保田 磐城水產工業 會社 | 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 平川 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 宮津 磐城水產工業 會社 |
| 資生堂藥鋪 | 久保田 磐城水產工業 會社 | 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 平川 佐瀬 磐城水產工業 會社 | 宮津 磐城水產工業 會社 |